

《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

* 科目 No. 1820

科目概要記入欄

1. 開設大学名	広島修道大学	科目開講 キャンパス	本学				
2. 科目名	正式科目名	科学技術社会論			クラス名	51	
	副題				配当年次	1・2・3・4	
	旧科目名				受入学年	2・3・4	
	学問分野	番号	41	名称	科学社会学・科学論		
	サテライトで開講される科目の科目群		A群	B群			
3. 担当教員名	宮川卓也						
4. 単位数	2単位	5. 開講学期	後期				
6. 開講期間 曜日・時間	2018年9月17日（月）～2019年1月28日（月） 月曜日 9:00～10:30						
個別開講日	1回目 9/17	2回目 10/1	3回目 10/8	4回目 10/15	5回目 10/22	6回目 10/29	
	7回目 11/5	8回目 11/12	9回目 11/19	10回目 11/26	11回目 12/3	12回目 12/10	
	13回目 12/17	14回目 1/7	15回目 1/21	16回目 /	試験日	1/28	
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」 () ②. 「基礎知識を必要としない科目」						
8. 募集人数 (総授業定員)	10人程度 (人)	9. 定員超過時の 選考方法	書類選考				
10. 科目内容・ 授業計画	<p>本講義は、現代社会における科学技術のあり方や役割をどのように考えるべきなのか、そもそも科学技術とは何なのか、「科学が問うことはできて科学が答えられない」ような複雑な事例に対して私たちはどう向き合うのかなどの問題群に関して具体的な事例を取り上げ、科学技術と社会、人間の関係について様々な角度から問いかける。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：科学技術社会論とは何か？ 2. 専門性：科学者/専門家とは何/誰か？ 3-4. 科学リテラシー：科学知識の何を、なぜ、どのように知るのか？ 5-6. 水俣病：科学的根拠とは何か？ 7-8. 遺伝子組換え食品：リスクガバナンスとは何か？ 9-10. 地球温暖化：不確実性にどう向き合うか？ 11-12. 福島原発事故：科学と民主主義は両立可能か？ 13-14. 新情報社会：監視社会、AI、人間 15. まとめ：われわれにとって科学/技術とは何か？ 						
11. 試験・評価方法	レスポンス・ペーパー、期末試験およびレポートで評価する（備考1を参照）。						
12. 別途負担費用	教科書は指定しないが、意欲ある学生は参考文献を参照のこと（備考2）。						
13. その他特記事項	授業には大人の分別をもって臨むことを期待します。						
14. サテライト科目 の社会人受講につ いて	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否		
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否		

備考1：レポート課題について

日々のニュース（テレビ・新聞・雑誌など）から科学/技術に関する事件・出来事・問題を見つけ、それがなぜ問題なのか、どういう問題を内包しているのかを検討する（A4で3枚以内）。レポートの書き方を含めた詳細は講義中に説明する。

備考2：参考文献（オススメ順）

平川秀幸『科学は誰のものか：社会の側から問い直す』NHK出版、2010年

村上陽一郎『科学の現在を問う』講談社現代新書、2000年

廣野善幸『サイエンティフィック・リテラシー：科学技術リスクを考える』丸善出版、2013年

佐々木力『科学論入門』岩波新書、1996年

藤垣裕子編著『科学技術社会論の技法』東京大学出版会、2005年

金森修・塚原東吾編『科学技術をめぐる抗争』岩波書店、2016年

金森修・中島秀人編著『科学論の現在』勁草書房、2002年